

# 地震を想定した避難訓練を行いました！！

9月14日（水）の6校時目に全校で地震を想定した避難訓練をしました。昨年は火災訓練でしたが、おしゃべりが多く、上靴のかかたを踏んだままで避難する生徒が見受けられ、消防署員から厳しい講評を受けましたが、今年、3月11日の東日本大震災も記憶に新しく、皆さんとても真剣に取り組みました。

**地震の際**には、揺れがおさまるまでは、机の下に体を入れ、**特に頭を保護**することが大事です。おさまった後、指定の場所に避難します。

**津波が起こる可能性がある場合は、遺愛の3階に避難する予定**です。遺愛の場合、正門の三角点で海拔17.8m、遺愛アリーナ（大体育館）の床で18.4m、新館（高校生）・東館（中学生）・ライト館の2階の床で22.3m、3階床で26.2mの高さがあるので、高さ15mクラスの津波がきても大丈夫だと想定しています。

その後、**自宅に帰るときに、公共交通機関が止まっていた場合には、遺愛に戻って来て下さい**。場合によっては、遺愛で宿泊することもあるかもしれません。現在、ライト館には40人分のベッドがあります。発注済みですが、毛布400枚、非常食3000食が間もなく用意されます。水道水30t、トイレ用の水40tも常に予備としてあります。

完璧な備えはできませんが、色々な事態に臨機応変に対応できるよう、日頃からシミュレーションや訓練を重ねていくことが大事です。



避難訓練の様子



消防署の方からの訓話

2011年9月20日